

あなたの声を
実現します

徹底現場主義!

G!

令和6年最初の県議会会報となる第43号となります。皆様本年もよろしくお祈りいたします。

今年1月1日に発災した、能登半島地震による甚大な被害の全容はいまだ判明していません。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧と復興を祈念いたします。

巨大地震の被害想定がでている県北地域において、また、豪雨災害など自然災害が頻発している現在において、安心・安全な地域を構築していくことが求められています。

そのためにも2月14日から始まる令和6年度予算を審議する2月定例会において、県当局との議論を深め、必要な対策を講じて参ります。

「徹底現場主義」で把握してきた地域課題の解決をはかり、地域振興を実現していくために、今年も全力を尽くして参ります。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし

令和5年10月12日に代表質問を行いました。

質疑1

県北沿岸振興につながる久慈～盛岡間の道路ネットワークの強化について

国道281号久慈市案内～戸呂町口を9月20日トンネル前後の道路改良に着手。同工区の早期完成に向けて整備促進。

中平ひとし プロフィール

昭和46年久慈市生まれ、久慈市在住52歳。平成15年に岩手県議会議員初当選、現在5期目。
岩手県監査委員、岩手県議会県土整備委員会委員長・議会運営委員会委員長・岩手県議会副議長を歴任。



令和5年12月11日、達増知事に令和6年度予算について要望を行いました。全県的な課題、県北地域をはじめとする県内各地の地域課題を解決するための県予算にするために活動しています。

中平ひとし 県議会代表質問 (令和5年10月12日 一部抜粋) 質疑2

水産振興・水産業リボーン宣言に基づく取組について

ウニ資源の有効活用、サケ稚魚放流、サケ・マス海面養殖はR5は6地区1,800 t、R6は8地区1,900 t。水産業の持続的発展に取り組む。

久慈内陸道路の整備促進について

久慈盛岡間の大まかなルート、道路構造等の調査を進めている。路線全体の整備の考え方・ルートを検討中。

河川の堆積土砂撤去・立木伐採を、豪雨災害の被害軽減のため定期的に実施すべきではないか。

必要な予算を確保しながら、激甚化・頻発化する自然災害から生命財産を守るため「流域治水」で防災・減災対策を推進する。

県財政の見通しから、歳入確保の取組は急務であるが、新たな確保策についてどのような考えか伺う。

グリーン/ブルーボンドや、6月定例会で中平議員から提案の「本県に関心を持つ県外在住者を主なターゲットとした個人向け地方債」の発行など積極的に導入を進め、必要な財源の確保に努めていく。

想定される巨大地震・津波への対応について、県はハード・ソフト両面での対策をどうするか。

ソフト面では自動車による避難経路等を検討するためのシミュレーションを実施するなど、地域の実情に応じた、より実効性のある減災対策を市町村と共に検討していく。また、「地震・津波対策緊急強化事業費補助金」により、市町村が行う「津波避難ビルの指定に必要な調査」や「住民の防災意識の向上」、「自主防災組織の活性化」などの取組を支援。

ハード面では、安全な場所に確実に避難するための避難路等、市町村の津波避難計画を踏まえ、県が実施すべき施設の整備に取り組む。

地域と継続的に関わる「関係人口」増加に向け、個人向け地方債「わんこ債」を12月25日発行。

令和5年第5号補正予算 久慈広域の公共事業関係 (12月定例会最終日、令和5年12月12日成立)

- 港湾施設改良事業 久慈港 2億5,000万円
- 道路環境改善事業 久慈地区橋梁補修7箇所 4億7,400万円
- 地域連携道路整備事業 国道281号 案内～戸呂町口 2億5,000万円
- 基幹河川改修事業費 久慈市 小屋畑川 3億円
- 水産物供給基盤機能保全事業(漁港施設超寿命化) 舟渡・侍浜・種市漁港 7,400万円

なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし 県政報告紙 No. 43

【発行】中平ひとし事務所 【発行者】中平ひとし

〒028-0052 岩手県久慈市本町1-5 TEL 0194-53-0111 FAX 0194-53-0136

HP : www.nakatai.net | E-mail : hitoshi@nakatai.net | Facebook : www.facebook.com/hitoshi.nakatai



中平ひとし事務所

